

# 米原市：農山村の脱炭素化と地域活性 ～米原市「ECO VILLAGE構想」～

脱炭素先行地域の対象：米原駅周辺民生施設、小泉・弥高地区耕作放棄地

主なエネルギー需要家：米原市庁舎1棟、滋賀県東北部工業技術センター3棟、ヤンマーホールディングス株式会社中央研究所7棟、民間施設2棟程度

共同提案者：滋賀県、ヤンマーホールディングス株式会社

## 取組の全体像

米原駅周辺の米原市・滋賀県の公共施設とヤンマーホールディングス株式会社の施設に太陽光発電設備を導入するとともに、小泉・弥高地区の耕作放棄地に太陽光発電設備(ソーラーシェアリング)を設置し、系統を通じて対象となる施設の民生部門の脱炭素化を図る。また、当該耕作放棄地において、ソーラーシェアリングとともに、AI・IoT等を実装し、再エネを地産地消する環境配慮型栽培ハウスを導入する。

### 1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 米原市庁舎・滋賀県東北部工業技術センターの、駐車場や屋根に約239kWの太陽光発電設備を設置
- ② ヤンマーホールディングスの、屋上および駐車場に484kWの太陽光発電設備を設置
- ③ 小泉・弥高地区の耕作放棄地に合計2,000kWの太陽光発電設備を設置するとともに、米原駅周辺市有地等に導入する大型蓄電設備を運用し、系統を通じて①②の公共施設等へ電力を供給

### 2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① ECO VILLAGE構想(小泉地区の耕作放棄地において、ソーラーシェアリングを実施するとともに、環境配慮型栽培ハウス(空調等に省CO2設備導入・リユース単管パイプ使用・有機栽培農福連携)の導入)
- ② 米原駅周辺とECO VILLAGEの間で、EV車両を活用した貨客混載MaaS事業の導入



### 3. 取組により期待される主な効果

- ① AI・IoT等の先進技術を実装した環境配慮型園芸施設が導入され、地域産品の生産を通して、農福連携を推進し、女性や若者が働く場が新たに創出。また、耕作放棄地を活用した再エネ設備導入モデルを市民に示すことにより、市域内における営農型太陽光発電の普及促進
- ② 先行地域内に再エネ電源を確保し、レジリエンスを強化

### 4. 主な取組のスケジュール

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027～29年度	2030年度
米原駅周辺民生施設群							
公用車駐車場、ヤンマー敷地内への太陽光発電設備設置							
市有地等への太陽光発電設備設置							
市有地等への大型蓄電池設置							
小泉・弥高地区耕作放棄地群							
滋賀県東北部工業技術センターの整備(新設)							
滋賀県東北部工業技術センターへの太陽光発電設備の設置							
耕作放棄地における太陽光発電設備設置、耕作放棄地への省CO2等設備の導入							